

ロンドン、2018年11月29日

チリの CAP ACERO 社より転炉 2 号基に続き 1 号基更新工事を追加受注

- 今年初めに稼働した転炉 2 号基に続き、1 号基更新工事
- 転炉 2 号基に空気圧式スラグ保持システムバイコンストッパーを設置
- バイコンストッパーにより、出鋼時のスラグ流出量を最小限まで削減
- バイコンストッパーによるスラグ形成剤と脱酸剤の消費量削減で鋼質の向上と運転コストが大幅に低減
- バイコンストッパーの導入は世界で 150 基目

プライメタルズテクノロジーズ (Primetals Technologies) は、チリの Compania Siderurgica Huachipato S.A. (以下、CAP ACERO 社) より、同社チリ・タルカワノ製鉄所にある LD (BOF) 転炉 1 号基の更新工事を受注しました。今回の受注は、2018 年 5 月に稼働を開始した転炉 2 号基の更新工事に続くもので、近代化される転炉 1 号基は、2020 年 3 月に稼働開始の予定です。今回は同時に 2 号基へのスラグ保持システム「バイコンストッパー (Vacon Stopper)」の設置工事も受注しました。同システムの導入実績は世界で 150 基目となります。このバイコンストッパーによって、出鋼時に取鍋へのスラグ流出が最小限に抑えられて鋼質が向上すると共に、スラグ形成剤と脱酸剤の消費量が減って、運転コストも大幅に低減します。

チリ中部のタルカワノに拠点を置く CAP ACERO 社は 1950 年に設立され、鉱物資源業界と建設業向け条鋼が主要製品で、線材も生産しています。

1 号基の更新工事は、完工した 2 号基と同様の各種投入技術、工事範囲が計画されています。1 号基の出鋼量は 100 トンで、処理容量が増大するため、冶金プロセスが改善されます。炉体とトラニオンリングの支持装置には、メンテナンスフリーのサスペンションシステム (Vacon Link 2.0) が使用されます。この柔軟かつ堅牢な支持装置は、熱変形による応力を最小限に抑えるとともに、負荷を均一に保ち、長期の耐用年数を実現します。また、傾動装置には新型のベアリングが装備されます。

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumljija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

1号基の更新工事については、当社主導の下、チリ・サンティアゴの VAPOR 社（VAPOR Industrial）の協力を得て実施されます。当社は、新設される転炉機器の炉体とトラニオンリングの詳細エンジニアリングを含む計画と設計、支持装置（Vaicon 2.0）とトラニオンおよびベアリングの供給に加え、組立エンジニアリング、既存炉の解体及び新転炉の再組立指導、顧客の運転オペレーター及び保守要員のトレーニングも担当します。VAPOR 社は、本転炉用の各機器の製造と輸送を担当します。

2号基については、空気圧式スラグ保持システム「バイコンストッパー（Vaicon Stopper）」を2019年春に設置予定で、最終的な性能値は主に炉体のサイズで決まりますが、取鍋へのスラグの流出をトン当たり2~3キログラム程度まで大幅に削減することが可能になります。この流出スラグ削減によりスラグに含まれるリン流入が抑えられ、注入取鍋内の鋼質の改善、取鍋炉の運転効率化のための消耗品添加量の減少という2つの大きなメリットを製鋼工程にもたらします。

スラグ保持システムには、出鋼終了時のスラグ流出を素早く確実に検出する赤外線カメラ式スラグ検知装置（SlagMon）、出鋼口を空気圧作動で塞ぐ空気圧式スラグストッパーユニット、ならびに供給装置が含まれています。バイコンストッパーは転炉にクイック交換装置で取付けられ、ユニット全体が簡単に交換できるため、生産に影響を及ぼすことなく工場内でオフラインのメンテナンスが可能になります。



プライメタルズテクノロジーズがチリ・タルカワノの CAP Acero 社（Compania Siderurgica Huachipato S.A.）製鉄所に設置した BOF 転炉 2 号基の最初の溶解処理。

（写真提供: CAP Acero 社、Jean Paul Sauré 氏）

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumlija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2018111666jp